



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 O A T アグリオ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4979 URL <https://www.oat-agrio.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）岡 尚
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）高瀬 尋樹 TEL 03-5283-0262
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年9月12日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満端数切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	17,181	9.6	2,736	36.7	2,616	15.3	1,762	13.2
2024年12月期中間期	15,673	△4.2	2,002	△38.5	2,269	△33.2	1,557	△31.5

（注）包括利益 2025年12月期中間期 1,926百万円（△37.7%） 2024年12月期中間期 3,090百万円（△20.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	174.20	—
2024年12月期中間期	151.34	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期中間期	37,037	18,154	46.0	1,688.32
2024年12月期	34,663	17,104	46.0	1,566.12

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 17,029百万円 2024年12月期 15,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2025年12月期	—	30.00			
2025年12月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,820	3.5	3,320	6.6	3,210	△1.0	2,090	0.6	205.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期中間期	11,072,000株	2024年12月期	11,072,000株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期中間期	985,163株	2024年12月期	885,694株
--------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	10,120,551株	2024年12月期中間期	10,291,163株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間期連結会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、好調なインバウンド需要が続いているものの、米価格の高騰や物価上昇に起因した個人消費の低迷が見られました。企業の設備投資等が今後も景気の下支えになると考えられる一方、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや米国相互関税等、世界の動向が経済に及ぼす影響は依然として注視が必要な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当中間期連結会計期間における売上高は171億81百万円（前年同期比15億7百万円増加、同9.6%増）、営業利益は27億36百万円（前年同期比7億34百万円増加、同36.7%増）、経常利益は26億16百万円（前年同期比3億46百万円増加、同15.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は17億62百万円（前年同期比2億5百万円増加、同13.2%増）となりました。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野において、国内市場では、病虫害防除資材「オンコル」、当社の注力している（注1）グリーンプロダクツの「サフオイル」「アカリタッチ」等の販売が好調に推移しました。一方で、「ダニサラバ」等は前年同期比で減少しました。海外市場におきましては、病虫害防除資材「オンコル」「ダニサラバ」「ガッテン」の販売が好調に推移しました。一方、「カリグリーン」は出荷時期のズレ等の影響を受け、売上高が前年同期比で減少いたしました。また、米国相互関税の影響を懸念した前倒し受注が一部に見られました。それらの結果、農薬分野の売上高は70億円（前年同期比9億22百万円増加、同15.2%増）となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野において、国内市場では、「ハウス肥料」「養液土耕肥料」「OKシリーズ」等の販売が好調となり、前年同期比で増加しました。海外市場におきましては（注2）バイオスティミュラント「アトニック」のアジア向け販売が好調に推移しております。連結子会社の状況としましては、オランダの子会社Blue Wave Holding B.V.は北米および南米向けに売上を伸長させており、スペインの子会社LIDA Plant Research, S.L.は欧州やアフリカ向けに売上を伸長させております。バイオスティミュラント製品の製造並びに肥料の製造・販売を行う国内の子会社旭化学工業株式会社も前年同期比で売上が好調に推移しております。それらの結果、肥料・バイオスティミュラント分野等の売上高は101億80百万円（前年同期比5億85百万円増加、同6.1%増）となりました。

「新中期経営計画(2024-2026年)」の2年目にあたる当期、グリーンプロダクツ、バイオスティミュラント、施肥灌水技術、プロバイオポニックス（有機水耕栽培）、スマート農業といった当社注力事業のさらなる発展のため、積極的な研究開発投資を推し進めていることは既にご報告のとおりであります。2025年5月には、かねてより開発を進めておりました高温対策のバイオスティミュラント「炎天マスター」を上市し、大変好評をいただいているところです。当製品は、近年の猛暑のような過酷な環境下においても安定した収量や品質の向上を実現します。当社グループは、世界の農業とそれを取り巻く環境の課題解決を目指し、今の時代の農業に必要な製品の開発・普及に継続的に取り組んでおり、今後も当社グループの掲げる2030年のあるべき姿を追求し続けることで、引き続き世界の農業に貢献してまいります。

（注1）グリーンプロダクツ：農薬登録を有する天然・食品添加物由来又は有機JAS適合農薬など使用回数に制限のない安心安全な環境にも優しい防除資材

（注2）バイオスティミュラント：植物が本来持つ免疫力を高め、耐寒性、耐暑性、病虫害耐性及び成長促進を促す物質や技術の総称

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間期連結会計期間末の総資産は370億37百万円で、前連結会計年度末に比べ23億74百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加6億76百万円、売掛金の増加15億53百万円、受取手形の増加4億8百万円、原材料及び貯蔵品の増加2億44百万円、仕掛品の減少4億88百万円によるものであります。

負債につきましては188億82百万円で、前連結会計年度末に比べ13億23百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加8億95百万円、支払手形及び買掛金の増加6億7百万円、未払法人税等の増加3億44百万円、長期借入金の減少5億47百万円によるものであります。

純資産は181億54百万円で、前連結会計年度末に比べ10億50百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上17億62百万円、剰余金の配当5億60百万円、為替換算調整勘定の増加1億2百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間期連結会計期間における現金及び現金同等物は52億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億97百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億5百万円の収入（前年同期は9億54百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前中間純利益26億18百万円、減価償却費5億39百万円、のれん償却費3億68百万円、仕入債務の増加6億6百万円、棚卸資産の増加2億12百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加18億96百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億57百万円の支出（前年同期は5億80百万円の支出）となりました。主な収入要因は定期預金の払戻による収入3億20百万円等によるものであります。また、主な支出要因は定期預金の預入による支出2億28百万円、有形固定資産の取得による支出1億25百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1億90百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億95百万円の支出（前年同期は62百万円の支出）となりました。主な収入要因は短期借入金の増加12億20百万円によるものであります。また、主な支出要因は長期借入金の返済による支出8億72百万円、配当金の支払額5億60百万円、自己株式の取得による支出1億97百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出1億5百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月12日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,849	5,526
受取手形	514	922
電子記録債権	56	40
売掛金	7,470	9,023
有価証券	87	90
商品及び製品	2,761	2,833
仕掛品	2,029	1,540
原材料及び貯蔵品	1,750	1,994
その他	1,218	1,199
貸倒引当金	△68	△58
流動資産合計	20,669	23,114
固定資産		
有形固定資産	4,139	3,958
無形固定資産		
のれん	5,474	5,550
ソフトウェア	170	165
顧客関係資産	2,566	2,506
その他	393	371
無形固定資産合計	8,604	8,593
投資その他の資産	1,249	1,371
固定資産合計	13,994	13,922
資産合計	34,663	37,037
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,245	2,853
短期借入金	8,525	9,421
未払金	746	545
未払法人税等	283	627
賞与引当金	39	38
損害賠償引当金	27	28
返金負債	109	295
その他	1,555	1,639
流動負債合計	13,533	15,449
固定負債		
長期借入金	2,447	1,899
退職給付に係る負債	240	228
繰延税金負債	906	906
その他	430	398
固定負債合計	4,025	3,433
負債合計	17,559	18,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,447	2,428
利益剰余金	11,431	12,633
自己株式	△1,193	△1,403
株主資本合計	13,147	14,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	161
為替換算調整勘定	2,649	2,752
退職給付に係る調整累計額	△7	△4
その他の包括利益累計額合計	2,805	2,909
非支配株主持分	1,151	1,125
純資産合計	17,104	18,154
負債純資産合計	34,663	37,037

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,673	17,181
売上原価	8,152	8,745
売上総利益	7,520	8,435
販売費及び一般管理費	5,518	5,698
営業利益	2,002	2,736
営業外収益		
受取利息	19	14
為替差益	298	—
受取配当金	3	4
受取保険金	0	42
持分法による投資利益	18	14
その他	20	31
営業外収益合計	359	106
営業外費用		
支払利息	88	86
為替差損	—	104
その他	4	35
営業外費用合計	92	227
経常利益	2,269	2,616
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	2,269	2,618
法人税、住民税及び事業税	759	907
法人税等調整額	△99	△129
法人税等合計	660	778
中間純利益	1,608	1,839
非支配株主に帰属する中間純利益	51	76
親会社株主に帰属する中間純利益	1,557	1,762

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	1,608	1,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△0
為替換算調整勘定	1,422	85
退職給付に係る調整額	9	3
その他の包括利益合計	1,481	87
中間包括利益	3,090	1,926
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,942	1,867
非支配株主に係る中間包括利益	147	59

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,269	2,618
減価償却費	556	539
のれん償却額	366	368
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	△10
返金負債の増減額(△は減少)	122	185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
受取利息及び受取配当金	△23	△19
支払利息	88	86
株式報酬費用	25	36
為替差損益(△は益)	93	9
受取保険金	△0	△42
固定資産除売却損益(△は益)	0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,968	△1,896
棚卸資産の増減額(△は増加)	△254	212
仕入債務の増減額(△は減少)	1,078	606
その他	△681	△379
小計	1,638	2,307
利息及び配当金の受取額	24	29
利息の支払額	△94	△89
保険金の受取額	0	42
法人税等の支払額	△615	△484
営業活動によるキャッシュ・フロー	954	1,805
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△136	△228
定期預金の払戻による収入	63	320
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	3
有形固定資産の取得による支出	△327	△125
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△190
無形固定資産の取得による支出	△28	△35
投資有価証券の取得による支出	△24	△0
投資有価証券の売却による収入	48	—
有価証券の取得による支出	△24	—
その他	△151	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△580	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,847	1,220
長期借入金の返済による支出	△2,296	△872
長期借入れによる収入	1,029	—
リース債務の返済による支出	△97	△81
株式の発行による収入	41	—
配当金の支払額	△565	△560
非支配株主への配当金の支払額	△21	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△105
自己株式の取得による支出	△0	△197
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62	△595
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	354	797
現金及び現金同等物の期首残高	3,716	4,481
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,070	5,279

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。